

世界の氷河が大幅に縮小している

○後退するヒマラヤ氷河、消滅するキリマンジャロの氷

(2005年3月、WWF報告書)

後退するヒマラヤ氷河、消滅するキリマンジャロの氷は
深刻な水不足を招く



1978年



1998年

ヒマラヤの氷河の融解

(写真:名古屋大学環境学研究科・雪氷圏変動研究室)

世界の氷河が大幅に縮小している

○1995年から2000年の間に世界のほとんどの氷河が大幅に縮小

(2005年8月、Fluctuations of Glaciers (FoG) 報告、世界氷河モニタリングサービス)

—26カ国約780カ所の氷河を調査

—1995年から2000年の間にほとんどの氷河で縮小を確認。長期間の監視を続けている30の氷河の厚さは年約45センチのペースで薄くなっている。温暖化が原因。

—ヨーロッパアルプスなど世界の多くの山岳地帯で、氷河が数十年後にほとんどなくなる可能性がある

世界で洪水が多発している

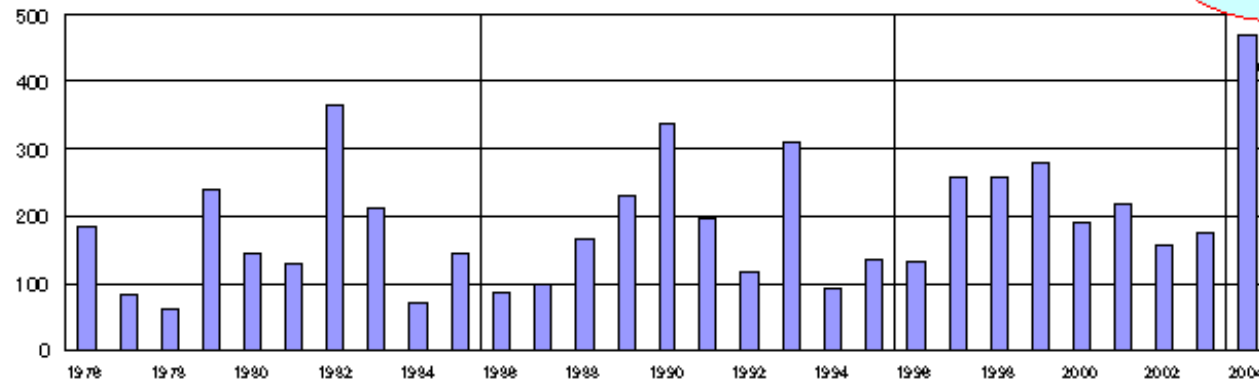
- ✓ 2002年夏、ヨーロッパでは数百年に一度という大規模な洪水。
- ✓ 人命の損失、川の堤防が壊れ、鉄道や道路、建物などにも大きな被害
- ✓ チェコ、オーストリア、ドイツ、フランスの4ヶ国で、70人以上が死亡。40万人以上が避難し、被害額は推定160億ユーロ(約2兆1,760億円)。

写真については著作権の関係上掲載しておりません。

日本でも大雨が増加傾向

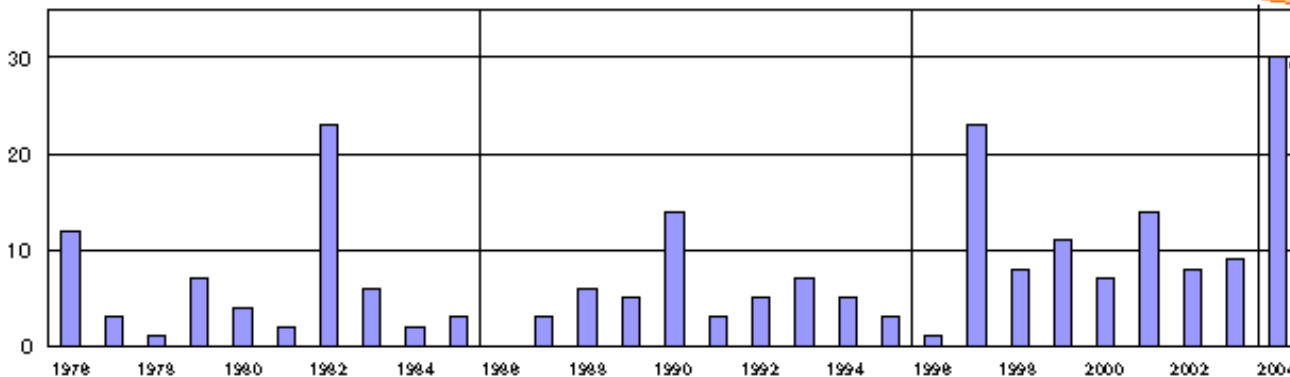
- ✓ 1時間の降水量が50mm以上の非常に激しい雨の出現回数は、年によりかなりの変動がある。しかし近年は、その変動がさらに大きくなり、回数が増加する傾向がみられる。

(回/年) 日降水量200mm以上の発生回数



2004年
469回

(回/年) 日降水量400mm以上の発生回数



2004年
30回

出典) 気象庁ホームページ
(気候変動監視レポート2004)

干ばつ

- 干ばつとは

- 長期にわたり降水量が少なく、日照りが続いて水不足の状態をいう。干ばつの深刻度は、水不足の程度、期間、被害域の広さに左右される。

- 様々な干ばつの定義

- 気象学的干ばつ – 降水量の平年からの乖離による指標。気候の違いにより、ある地点において干ばつと分類されるものが、他の地点では干ばつとは分類されない場合もある。
- 農業的干ばつ – ある特定の作物が必要とする土中水分量が満たされない状況。
- 水文学的干ばつ – 地表水・地下水供給が平年以下の場合に生ずる。
- 社会経済的干ばつ – 水量の不足が人々の暮らしに影響を及ぼし始める状況。